8月1日(土)「道の駅なみえ」がオープン

浪江町の〝復興のシンボル〟として８月１日㈯にオープンする「道の駅なみえ」は、町民同士をつなぐ交流施設、町民の日常生活を支える商業施設などを有するほか、観光客を迎え入れる玄関口として町の魅力を伝える情報発信機能も備える大型複合施設です。また、施設中央に位置する「地域観光情報発信室」では、道路情報をはじめ、地域の観光情報、被災経験や復興の現状など、〝浪江町の今〟が分かる豊富な情報を提供します。

景観との調和に配慮

「道の駅なみえ」は、令和３年１月にグランドオープンを予定している「地場産品販売施設」を合わせると、(旧)１町５村が合併して誕生した浪江町をイメージした、６枚に連なる屋根を擁します。背景の山並みとの調和に配慮した建物は、町を南北に貫く国道６号や、浪江町と福島市を結ぶ国道114号を走る車窓から、その角度により様々な表情の変化を見せます。

また、建物の外壁の一部には、国指定の伝統的工芸品「大堀相馬焼」の陶板タイルを使用し、浪江町の雄大な自然と美しく澄んだ空や、町の花「コスモス」のイメージを描き出しています。

さらに、国道114号沿いにツツジやハナモモを、請戸川沿いにはジンダイアケボノザクラを植栽するなど、色とりどりの花を楽しむことができるとともに、自然に溶け込む空間づくりを心掛けています。

浪江の海と山をイメージして

「道の駅なみえ」のイメージを形にしたロゴは、海と山に囲まれた浪江町をモチーフにしています。

「道の駅」部分には、町の西部に連なる山々を、「なみえ」部分には、東部に見渡す限り広がる海の波を組み合わせ、外側を囲む半円は、海から望む日の出をイメージしています。

また、町の中央を流れる請戸川などでサケが遡上(そじょう)することから、「駅」の部分に「サケ」を描いた旗を、山頂に掲げています。

施　設　概　要

- ●施設名称：道の駅なみえ
- ●所　在　地：福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字知命寺60
- ●営業時間：９時～18時（予定）
- ●管理・運営：一般社団法人まちづくりなみえ
- ●駐　車　場：128台(大型車：22台、小型車：103台、身障者・妊婦用：3台)（24時間利用可能）
- ●ト　イ　レ：男性用 (小)８(大)洋７(大型ブース１)　女性用 洋27(大型ブース１、多機能トイレ１)　(一部、24時間利用可能)
- ●公共施設：大会議室、談話コーナー、交流サロン、郷土料理研修室など
- ●登　録　日：令和２年３月13日（福島県34番目の「道の駅」として登録）

焼きたてパン工房

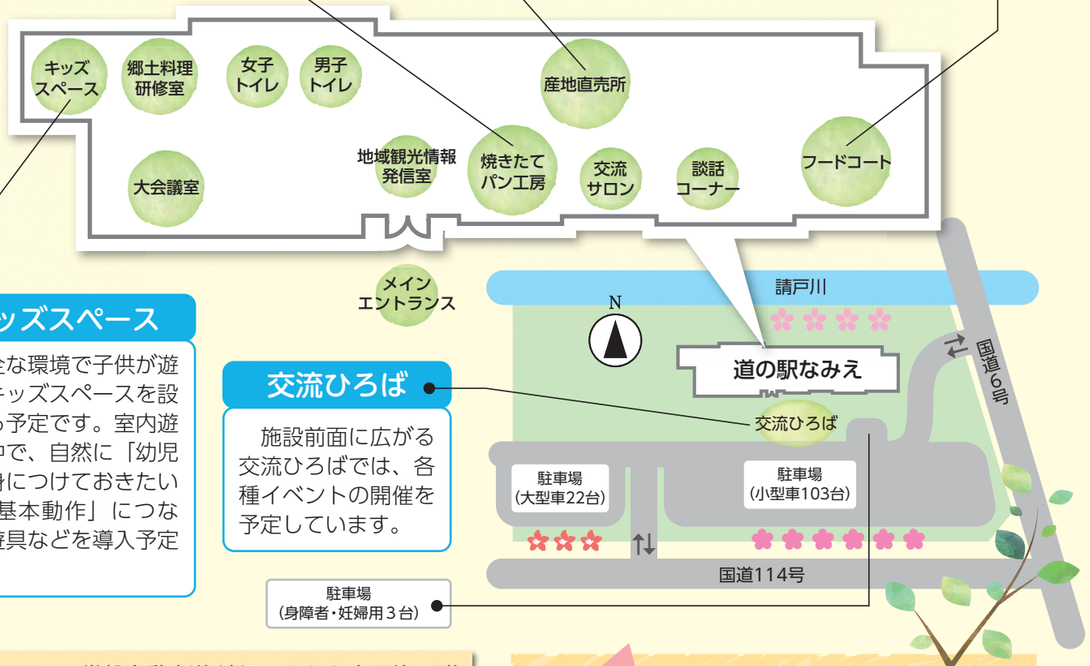
ほのかに香ばしいパンの香りが漂う工房には、様々な具材を挟んだコッペパンや、〝なみえ焼そばパン〟をはじめとした総菜パンが並びます。工房キャラクター「ぽっぽ」がお待ちしています。

産地直売所

浪江町産の新鮮な野菜や海産物のほか、ここでしか買えないオリジナル商品や、町民の皆さんが手掛けた民芸品など、〝浪江の魅力〟がたくさん詰め込まれた空間です。

フードコート

請戸漁港で水揚げされた新鮮な海産物を使った料理やなみえ焼そばなど、〝浪江のグルメ〟を堪能できます。ガラス張りの開放的な空間で、天気が良ければ、テラスで食事も楽しめます。



キッズスペース

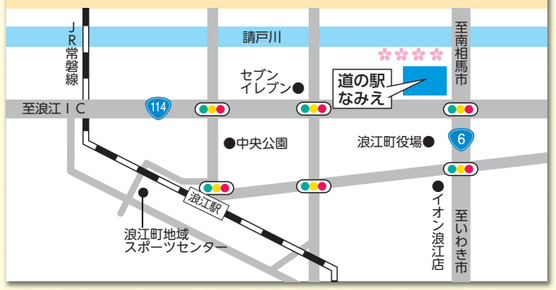
安全な環境で子供が遊べるキッズスペースを設置する予定です。室内遊びの中で、自然に「幼児期に身につけておきたい36の基本動作」につながる遊具などを導入予定です。

交流ひろば

施設前面に広がる交流ひろばでは、各種イベントの開催を予定しています。

アクセス

常磐自動車道 浪江ＩＣから車で約10分
ＪＲ常磐線 浪江駅から徒歩約15分



PICK UP!!「道の駅なみえ」オリジナル土産

浪江町イメージアップキャラクター「うけどん」の〝たまごボーロ〟が誕生しました。一粒一粒に「うけどん」がプリントされています。来町記念にいかがでしょうか。

問 産業振興課商工労働係　TEL 0240(34)0247